

また、それとは別に
来月1月29日(日)に
開催予定の、あんね
つとフォーラムの準備も
始まりました。
今回は、市民活動セ
ンターとの協働開催
で、センター登録団体
や市民活動に関心のある
方を対象に行いま
す。現在あんねつとで
は、フォーラムのテー
マやワークショップの
内容などを話し合っ
ています。



あんねつとでは「協働に関する指針」について議論
を重ねてきました。第20回までの分科会及び第21
回の全体トークで出された意見を元に「たたき台」を
作成。その後のあんねつとと審議会を経て、現在は最
終案を作成している状況です。検討と推敲を重ねて
どんどん良くなっていますよ。

**協働に関する指針たたき台
フラッシュアップが本格化**
みなさん冬になって寒さが本格化してきましたが、
元氣にお過ごしでしょうか。

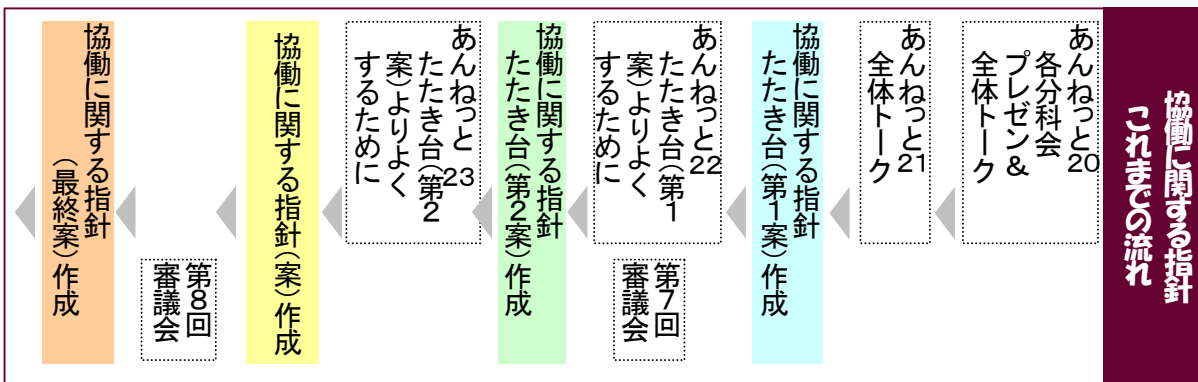
安城市 協働に関する指針を考える 市民会議



第9号

発行／安城市協働に関する指針を考える市民会議
事務局／安城市 市民協働課
TEL(0566)71-2218 FAX(0566)76-1112
MAIL : kvodo@city.anjo.lg.jp
HOME : <http://www.city.anjo.aichi.jp/>

- 「あんねつと」とかわらばんへのご意見・ご感想をメール・電話・FAXで募集します。
- どんどんお寄せください。お待ちしております。



第20回あんねつと
は、前回までの「ひと
場所」「お金」「情
報」について、4班で
議論した内容の発表
から始まりました。
模造紙に、タイト
ル 課題 具体的な
仕組み 参考事例を
まとめ発表しました。
「何のための」「ど
んな仕組み」かを、具
体的に分かりやすく伝
えました。
プレゼン後は、車座
になって全体トーク
を行いました。タイト
ルは「テーマをつなぐ
仕組み・体制」として
例えば「テーマを超え
てつながる仕組みや
体制はどんなことが
考えられる?」「連
携・つなぎ方の手法
は?」などを話し合
いました。
それぞれがつなが
る仕組みや体制づく
りについて、思いを
ぐらえました。

第20回

2011. 8. 26



全体トーク「テーマをつなぐ仕組み・体制」

①テーマを超えてつながる仕組み・体制としてどんなことが考えられる?

・「かけこみ寺」のような場所があるといいね。そこにいけば、誰かが相談にのってくれるような

③「かけこみ寺」のような場所はたくさんあった方がいいの?それともハブ的な中心施設があった方がいい?

・お医者さんの関係に似てるかも。最初は町医者に行って診てもらうけど、高度な診療が必要な場合は総合医療施設に行くというように使い分けができるといいね

⑤連携・つなぎ方の手法は?

・まず、「協働」の意味が知られていないから、理解してもらえないこともある。その原因を考えることが連携への方策かも
・「サポータークラブ」ができて、行政や市民活動センターとのつなぎ役を担ってくれるといいな

②「かけこみ寺」は市民活動センターなど既存の場所ではダメかな?

・持っているネタ、情報、ネットワークを活用できるよう、背中を押してくれる仕組みがあるといいなあ
・口コミのネットワークが広がるといいね

④本気になる為に

・地域の仲間でお金を出し合って集会場を建てました。「お金を出したんだったら、その分だけ活用して元を取らないと損だ」と本気度が違う

⑥町内会など地域団体とのつながりはどうしよう?

・十何年住んでいてもヨソモノ呼ばわりされてしまうので、もっと開かれた町内会組織の運営が必要ではと思う
・新しく越してきたマンション住民とどうやって協力関係を築いていくかが課題。マンション組合を町内会に取り込んだ事例も

発表会「提案します!協働を推進するための具体的な仕組み」

【ひと班】

協働に対する市民の意識の底上げが必要／コーディネーターの育成／行政職員の人材育成も必要(行政は研修等を通して実施)／社協のコーディネーター、町内会、生涯学習コーディネーターをうまくファシリテートできる職員をつくりたい

【お金班】

助成を受けるためには活動内容の透明性を上げる必要があるが、ハードルが高くなりがちである。もっとハードルの低い助成があってもよい／寄附するとどんなメリットがあるか、理解が深まるとお金が集まりやすいのでは

【場所班】

組織化(NPO法人)した活動団体が少ない／すでにある色々な市内施設では協働事業を行っていて、市民がそれに参画できるようにするといふ。その状態が、市民に「見える化」されたものであってほしい

【情報班】

市役所内外との情報の連携が深まるといい／社協、市民活動センター、生涯学習センター、公民館、町内会で情報交換や交流が必要／民間的な考え方で持続可能な中間支援組織を設立してはどうか



裏面へ続く

ひとことアンケート

あんねつと20 難しい...。どうまとめるのか楽しみです(笑)。中間支援組織のハードルは低いほうが実現しやすいのでは。寄附と使い道は、必ずセットで考えないといけないと思います。コーディネーターをどう育成するかが課題、実際に動き出さないと...

あんねつと21 意見が割れることが少なく、びっくりしました。やっぱり登録や制度は少なからず大切だと思いますが、運用は考えないといけない。表彰制度は、表彰を通じて一般の方も「協働」の理解を深める機会になれば。

あんねつと22 協働に関する指針、第1案はすばらしいものだと思います。この会議に参加させていただいて、安城の現状などを知らなかったことを痛感しています。これからも勉強をさせていただきます

あんねつと23 第2案、本当にすごいと思います。お疲れ様でした。全体の流れがより分かりやすくなると思います。あんねつと基金は本当に実現可能なのか、第3案はどうなっているか楽しみです

全体トーク「確認しよう！協働を推進するための土台について」

A:協働のパートナーとしての「社会的責任」と「公益性」を担保するための仕組み

【団体登録の仕組みが安城に必要なか？】

はい 1 2 ⇐ いいえ 0

書くことも育成の一環→どのように書いたらよいのか分からないので、その指導も含めてやっていく必要がある／登録要項もなるべく書きやすくしていく必要がある／登録の仕組みや活動自体がよくても、バックについているものは危ない場合があるがそこを見抜けない

C:協働を総合的かつ計画的に推進するための「協働推進計画」について

【協働推進計画は必要か？】

はい 1 4 ⇐ いいえ 1

形だけにしないために／長期的な推進計画を立てる必要がある／計画は予算取りの根拠／進捗状況の見える化。みんなで計画をチェックしていくといい／中身のチェックの仕方、その材料の出し方を工夫して分かりやすくするといった

B:具体的な協働支援の仕組み

【協働事業の提案の仕組みが必要か？】

はい 1 4 ⇐ いいえ 0

自分のやりたい事業がどの課に関連するのか？ということを知りやすく示してほしい／仕組みを理解する為のセミナーも必要／収益はそれほど上がらないけれども、ボランティア団体、NPO団体だからこそできるものについては、どんどん入っていけばよいのではないかと

D:協働を推進するための第3者機関である「協働推進評価会議」について

【協働を推進するための第3者機関は設けたほうが良いと思う？】 はい 1 2 ⇐ いいえ 3

【市民参加評価推進会議と協働推進評価会議は一緒にする？】 はい 1 4 ⇐ いいえ 0

市民参加評価推進会議と協働推進会議は一緒によい／仕組みや会議を形骸化しない／意見を取り入れてくれないと、ただのアリバイづくりになってしまう

第21回

2011. 9. 9



全員で協働を推進するための土台について協議



第21回あんねっとは、前回に引き続き車座になって全体トーク。「確認しよう！協働を推進するための土台について」とし、4つのテーマを全員で熟議の上、意見の方向性について「はい」「いいえ」の確認をしました。協働に関する指針のたたき台（第1案）になる意見は、すべて出そろいました。

第7回審議会

2011. 10. 14

第7回審議会では協働に関する指針（第1案）と、市民協働に関するアンケート分析について審議しました。あんねっとで検討したたたき台（第1案）を、市民協働課及びあんねっとと会長・副会長から審議会へ報告しました。アンケート結果は、「協働に関する指針」策定の基礎資料にするため、結果報告を事務局が行いました。

全体トーク「指針のたたき台～よりよくするために①」

【全体内容】

今までの、行政が作成したような作文の寄せ集めではなく、あんねっとでの議論結果がそのまま（案）となっている、画期的な内容である／協働に関心がない市民も除外されず、市民として公共の利益が受けられるように

【第2章「協働」を推進するために】

施策4の養成講座の実施と中間支援組織の結成の時列がおかしくないか／これまで議論していない内容ですが、「ふれあい補償制度」（ボランティア保険）についても市民活動や協働事業に必要であると思います。指針に入れられるよう見直しができれば

【第1章「協働」に関する基本的内容】

あんねっとでよくでていた「サラダのように」というキャッチなフレーズが、読み手の気持ちをそそる！！／サラダの表現はいい、イメージ図があるともっといい／「古くは」の表現を「かつては」に置き換えたほうが良い

【第3章 持続可能な協働推進のしくみ】

市民活動センターをひと、場所、情報のハブ機能としてとありますが、活動していて一番欲しいのはバーチャルオフィスなどではないのでしょうか。この辺をフォローしてくれるともっと活動しやすいと思う／「新しいIT技術を適切に入れる」とあるが、具体案が書かれるといい

第22回

2011. 10. 13



たたき台（第1案）についての話し合い



まず、事務局より前回の議論を踏まえた「たたき台（第1案）」が提示されました。続いて、参加者各自が「評価」と「改善」の意見をポストイットに記入し、発表していくという流れで行いました。最後には、みんなであんねっとの将来の活動に向けて話し合いを行いました。

第8回審議会

2011. 11. 24

第8回審議会では、前回に引き続き、協働に関する指針（案）について審議を行いました。この案は、第23回あんねっとでブラッシュアップされたものです。指針は推敲が進んでおり、そのせいか委員からもより詳細な意見や感想が出されてきました。この審議会でも出された意見を踏まえ、来年2月の審議会答申を目指します。

「思いがカタチになってる？指針のたたき台（第2案）」の確認



【第1章「協働」に関する基本的内容】

「公助」の説明は「地域福祉計画」に定義があるため、そろえた方がよい／団体主導の委託事業とはどのようなものか／4者の協働事業はどこに分類されるか

【第2章「協働」を推進するために】

市民が「安城市と市民との協働が望ましい」と考えている活動が分かり興味深い。また、サクスフェスティバルのアンケートにて分かった「自治基本条例、市民参加条例、協働の認知度が低い」という調査結果を載せてもよいのでは

【第3章 持続可能な協働推進のしくみ】

コーディネーターについて、社会福祉協議会ボランティアコーディネーター、生涯学習コーディネーターの他に社協の中には地域福祉活動コーディネーターがいます／P31の「推進体制のイメージダイアグラム」と照らし合わせて読めるとよいのでは

グループワーク「企画しよう！あんねっとフォーラム①」

【狙い・目的】 個人同士の交流や連携ができる母体作りになるように

【テーマ】 共通しやすいもの／自分の良さ、相手の良さ発見／ネットワークカフェ／ゆるネットカフェ／「つむぐ」を入れては？／「協働」というキャッチフレーズで行う。他のテーマだと話が広がりすぎてぼやけてしまう

【ミニレクチャーの内容】 映像、BGMを利用する／指針を分かりやすく伝える／一人が説明するのではなく、4つの分科会から一人ずつ分担して

【ワークショップの内容】 「すごい」シール「共感、ｲｲね」シールを貼る／井戸端会議みたいな／夢を語ろう！／制度を組み立てるための議論

【参加者募集方法の工夫】 情報収集の場として／交流が「主」／団体交流だけではないことを広報に記載するとよい

第23回

2011. 11. 10



たたき台（第2案）＆フォーラムについての話し合い



第23回あんねっとでは、前回までの議論と第7回審議会での意見を元に編集された「たたき台第2案」について意見を出しました。その後は、「来年4月以降のあんねっとについて」会長から説明がありました。このままあんねっとの活動を終わらせては残念だ、それなら緩やかな組織で活動してみようじゃないかと提案がありました。続いて、「企画しよう！あんねっとフォーラム」のグループワークを行いました。4班に分かれ、来年1月29日（日）に開催予定のフォーラムについて、「狙い・目的」「テーマ」「ミニレクチャーの内容」「ワークショップの内容」を話し合いました。

「あんねっとフォーラム
& わくわく交流会」

1/29(日) 13:00～
市民交流センター多目的ホール
参加費無料

みなさんのご来場
お待ちしております。